

山形県立図書館 令和5年度運営方針に基づく主な取組みの状況について

1 ときめく図書館 ～学びの意欲を喚起する空間の提供～

(1) 本との出会いを演出し、賑わいの拠点となる空間づくり

- 多様な主体と連携し、外部の視点を取り入れた賑わいづくりを推進するため、県内の大学や団体で構成する「賑わいづくり企画・実行委員会」を6/25と8/30に開催して企画検討、意見聴取。(📷①)
- 年間を通じた賑わい創出のため、季節毎にフェスタを開催。7/2～8/11に開催したサマーフェスタ(📷②③④)では、13イベントに計614人が参加(イベント数は対前年度44%増、参加者数は93%増。10月にオータムフェスタを開催予定。
- 社会情勢・時節を捉えたタイムリーな企画展示を実施。《以下、主なもの》
 - ・県環境企画課連携展示「カーボンニュートルやまがた県民運動企画展」、県環境科学研究センター連携展示「気候変動適応について」(6/30～7/28)
 - ・「第2回日本一美酒県山形フェア」応援展示「酒と肴と酒場の本」(4/25～6/4 📷⑤)
 - ・企画展示「どこいく？なにをする？夏が来た！」(6/20～8/12 📷⑥)
 - ・県企画調整課連携「やまがたSDGs推進月間」啓発展示(9/1～10/31)
- 遊学館内や近隣の施設・団体と連携した企画を実施。《以下、主なもの》
 - ・男女共同参画週間啓発展示(6/15～6/30 チェリアとの連携 📷⑦)
 - ・企画展示と連携した「IL BLU 遊学館」による特別メニューの提供
桜鯛のカルパッチョ、桜クリームのマリトッツォ 📷
 - ・「チェリアフェスティバル山形2023」連携展示を実施予定(9/22～10/14)
 - ・文翔館、教育資料館、洗心庵との4館合同企画を実施予定(11/3～11/26)
- 県内公共図書館の専門性の向上を図るため、図書館職員専門研修を3回実施。
 - ・第1回「資料のデジタル化編」(8/21 📷⑧)
 - ・第2回「本の修理編」(11/20 予定) ・第3回は企画中

(2) 乳幼児から高齢者まで生涯にわたり利用できる図書館づくり

- 乳幼児期から本に親しむイベントを開催。《以下、主なもの》
 - ・「おはなし会」(東北文教大学 毎月1回 📷⑨)
 - ・「紙芝居のひろば」(山形紙芝居研究会 毎月1回 📷⑩)
 - ・「外国語の絵本を開いてみよう」(県国際交流員 6/11、8/6、今後2回予定)
 - ・絵本作り講座「あるはなつきと絵本をつくらう！」(7/29 サマーフェスタ 📷④)
- 児童生徒の読書を推進するための取組みを実施。《以下、主なもの》
 - ・高校図書委員によるおすすめ本を自作POPとともに展示(8/1～3/31 📷⑪)
 - ・自由研究・読書感想文に役立つ図書等の展示「なつやすみ特集」(7/12～8/31 📷⑫)
- 県民各層の読書活動を推進するための取組みを実施。《以下、主なもの》
 - ・子ども読書週間に合わせた企画展示「むかしむかしあったけど～むかし話と郷土かるたの展示～」(4/18～6/17)、山形西高校合唱団による「絵本とうたの会」(4/29)、夕鶴の里(南陽市)語り部による「むかしばなし口演会」(6/3 📷⑬)
 - ・敬老の日に合わせた企画展示「心ゆたかに生涯読書」(8/22～10/14)



- ・秋の読書週間(10/27～11/9)に合わせた企画展示「県内出版物展」を実施予定
- ユニバーサルなサービスを推進するため、次の取組みを実施。
 - ・インターネットを介して点字や音声による情報を提供する「サピエ図書館」に加盟(7月)
 - ・対面朗読サービスの実施に向け、対面朗読者の確保について検討中

2 たよれる図書館 ～県民を支える資料の収集・活用と県内図書館との連携強化～

(1) 県民の暮らしや課題解決、調査研究を支援する蔵書づくり

- 郷土資料の積極的な収集と供用・活用を実施中。
 - ・「資料収集方針」(平成13年11月21日協議会答申)に基づき、例月の新刊図書の購入において本県居住者・出身者の著作物や本県に関する内容の出版物等を優先的に選定
 - ・市町村立図書館(室)との連携などにより情報を収集し、郷土出版物や行政刊行物、校史・社史についても積極的に収集(寄贈による収集を含む)
 - ・令和4年度やまがたの魅力理解促進事業で重点的に整備した郷土資料の探究型学習等への活用を促進するため、デジタルライブラリーの充実等と併せた学校への周知を予定
 - ・蔵書を活用した主体的な学びを支援するパスファインダーの項目追加を検討中(47点→48点)
- 郷土資料以外の資料についても、「資料収集方針」に基づき、分野別のバランスや読書ニーズも考慮した収集を行うとともに、館内展示やホームページで新着図書として紹介。
- 所蔵資料を活用した調査研究や学びを支援するため、レファレンス(調査相談)に日常的に対応。(令和5年4月～7月:8,257件)
- 近年、大規模な自然災害が頻発している状況を踏まえ、関係資料の収集にも努めながら、県の関係部署と連携して県民の防災意識を高める企画展示を実施。《以下、主なもの》
 - ・県環境企画課連携展示「カーボンニュートルやまがた県民運動企画展」、県環境科学研究センター連携展示「気候変動適応について」(再掲 📷⑭)
 - ・県河川課、砂防・災害対策課連携展示「水害・土砂災害に備えよう」(5/31～6/30 📷⑮)



(2) 県内図書館全体のサービス充実に向けた県立図書館の役割の発揮

- 市町村立図書館(室)と連携した県全域でのサービスの提供と市町村立図書館(室)への効果的な支援を行うため、次の取組みを実施。
 - ・市町村立図書館(室)への巡回訪問による県立図書館の事業内容やサービスの周知、各館独自の取組みや課題等の把握(5月～7月 14市町村を訪問)
 - ・「公共図書館(室)実務者会議」の開催による共通の課題等に関する協議、情報共有(7/20)
 - ・県内公共図書館の専門性の向上を図るための研修を実施(再掲)
 - ・令和5年度(第74回)北日本図書館大会を本県で開催(7/7 遊学館 📷⑯)
 - (第43回山形県図書館研究大会を兼ねて開催 東北各県より約200名が参加)
 - ※ 大会の内容を撮影した動画を10/9まで配信中
 - ・連携企画「山形県図書館大賞2023」を実施(「大人も読みたい絵本」をテーマとして、各館職員の投票により20作品程度を選出し、公表するとともに各館で企画展示を開始予定)
 - ・浜田広介生誕130年、没後50年に合わせ、市町村立図書館(室)と連携した企画展を計画



- 若者の読書活動の推進に向け、学校図書館との連携強化を図るため、次の取組みを実施。
 - ・高等学校教務主任連絡協議会（5/24）における県立図書館のサービスの説明、活用の呼びかけ
 - ・県立高校の学校図書館への訪問を実施し、課題やニーズを把握（5月～7月に4校を訪問）
 - ・県内高校・大学図書館に対する図書館職員専門研修への参加呼びかけ
 - ・高校図書委員によるおすすめ本を自作POPとともに展示（再掲）

- 外部から資金面での協力を得てサービスの充実を図るため、雑誌スポンサー制度を実施し、現在9社より10誌の御協力。
- 利用者のニーズ等を把握し図書館運営に活かすため、7/7～22に利用者アンケートを実施。用紙記入+Web 回答数489 結果集計中、後日公表予定

3 つながり・ひろがる図書館 ～デジタル化と連携協働によるサービスの充実～

(1) インターネットを活用した利便性の向上とデジタル化の推進

- オンライン環境を備えたアクティブラーニングルームを連携イベント等に活用するとともに、探究型学習や生涯学習の成果発表等の場として供用。(📷17)
(4月～8月の利用18件、うちオンライン/ハイブリッド形式のイベントは未実施)
- ホームページやSNS (Facebook、X) 等を活用し、企画展示やイベントの告知及び実施結果、お薦め本情報等を頻回に発信。なお、SNSについては発信強化に向けInstagramの導入を含め運用見直しを検討中。
(4月～8月の掲載・投稿件数：HP約70件、Facebook約80件、X約240件)
- インターネットを活用した情報発信の一つとして、講座の動画配信を実施
 - ・紙芝居のひろば（令和4年度実施）2件（4/5～📷18）
 - ・市町図書館と協働実施した郷土の魅力を知る講座（令和4年度実施）4件（8/26～📷18）
- 図書館情報システムの出張カウンター機能（インターネットを介し、館外での利用者カード発行等が可能）を活かした「移動図書館」について、今年3月の試行時における課題を踏まえて実施方法を見直し、年度内に実施予定。(📷19：試行時の様子)
- デジタルライブラリー（ホームページで公開中の、史料としての価値が高い写真、版画、和装本、絵図のデジタル画像集📷20）について、令和4年度やまがたの魅力の理解促進事業により作成した高画質画像や児童向け解説文を掲載し一部更新（8/19）、児童生徒の探究型学習での活用を促進。
- 電子書籍サービスの導入に向けた調査研究事業を実施中。
調査内容：図書館向けサービスの内容、利用者のニーズ、他県導入状況及び課題、県内市町村の意向



(2) 連携・協働によるサービスの充実

- 新型コロナ感染拡大防止のため活動を中止していた図書館ボランティアの活動を7月より再開。
協力内容：書架整理等 登録人数：13人 活動日数（延べ）：7月18人・日、8月14人・日
- 協働による賑わいづくりを推進するための情報共有・意見交換の場として、「賑わいづくり企画・実行委員会」を6/25と8/30に開催。（再掲）

目標指標の到達状況

指標名	令和5年度目標	令和5年8月まで実績	中間評価 ()内は限時点の到達水準
【1 ときめく図書館】			
新規利用登録者数	4,000人以上	1,884人	○ (113.0%)
個人貸出冊数	360,000冊	131,354冊	△ (87.6%)
イベント参加の満足度 (5段階評価)	アンケートを実施した 全てのイベントで4以上	4以上 4/4	○
【2 たよれる図書館】			
蔵書回転率 (個人貸出冊数/蔵書冊数(図書))	48%	—	年度途中での評価が困難
パスファインダー数	48点	47点	△ (増加なし)
県内市町村立図書館(室)への貸出冊数	9,000冊	1,205冊	△ (32.1%)
学校図書館への延べ貸出冊数 (一括・セット)	25回	5回	△ (48.0%)
図書館職員研修の参加満足度 (5段階評価)	全研修で4以上	4以上 1/1	○
【3 つながり・ひろがる図書館】			
図書館ホームページの延べ閲覧ページ数(ページビュー数)	1,550,000ビュー	173,258ビュー (5/10～8/31・非連続)	—
インターネット予約貸出のうち他館受取冊数	5,000冊	2,491冊	○ (119.6%)
図書館サポーターの延べ活動日数(人・日)	今後設定	—	—
利用者アンケートの満足度(施設)	4.5以上	4.3	× (95.6%)
利用者アンケートの満足度(スタッフ)	4.5以上	4.4	× (97.8%)

《中間評価 略号》

◎：既に達成 ○：順調に推移 △：今後更に努力が必要 ×：未達成(確定)

今後も運営方針に基づく取組みを着実に推進

県民一人ひとりの生涯学習の基盤となり、知の集積と循環によって、新たな知恵や活力を生み出し、県民の成長と地域の賑わいに貢献